

# あべともこニュース

## さあ原発ゼロへ

### 地域が主役のエネルギー変革

あけましておめでとーございませう。

昨年、国会はカジノ法の成立で幕を閉じました。税収は下振れ、物価2%目標は先送りなどアベノミクスの失敗が露わになり政策転換が必要な時に、ギャングブルが成長戦略とはあきれます。安倍政権は11月には日印原子力協定で合意、先月は日英原子力協力の覚書も交わしました。原発輸出も成長戦略の柱とされますが、ベトナムの原発建設が中止になるなど誤算続きです。東芝はアメリカの原発事業で巨額損失計上、原子力大国フランスのアレバ社も経営難です。新興国の原発需要は旺盛とされますが計画変更や遅延も目立ちます。原発は公的支援抜きでは成り立たない事業であることは明白です。何より、福島第一原発事故は莫大な損失が生じることを示しています。経済性がなく、そもそも倫理的に選択しえないのが原発です。でも安倍政権は原発にこだわります。破綻状



衆議院議員 あべともこプロフィール  
神奈川県 神奈川12区(藤沢市・寒川町)  
当選6回(比例南関東)、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこどもクリニック(湘南台)理事長、現在、厚生労働委員会委員・原子力問題調査特別委員会委員

## 再エネ拡大で「好循環」を

態の東電を支えるために既に多額の国民負担が生じていますが、加えて、賠償資金を新電力利用者を含む全ての消費者が負担する送電線利用料(託送料金)に上乗せして徴収する目論みです。そして、東電再建のカギは柏崎刈羽原発の再稼働だということです。また、巨費を無駄にした「もんじゅ」の廃炉を決めつつも反省なく高速炉開発を続ける方針です。政府の宣伝する「原発は安い」は机上の空論で、立地地域への経済効果も裾野が狭く、かつ依存させる弊害があります。時代遅れの大規模集中型から地域分散型のエネルギーシステムへの転換は必至です。省エネと賢い需給管理の推進と地域資源を生かした再エネ拡大こそが地域経済「好循環」の戦略になります。あべともこは、消費者が選択し、支え、受益する再エネに未来を見ます。国民負担で支える上に将来世代にツケを残す原発には「さよなら」をする1年に！

ネットでも日々の活動を発信中！

あべともこ  
公式Twitter  
@abe\_tomoko  
[http://twitter.com/abe\\_tomoko](http://twitter.com/abe_tomoko)

あべともこ事務所  
公式Facebookページ  
<http://www.facebook.com/abetomoko>

ホームページリニューアル  
最新情報をお届けします。

あべともこ

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。

あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。



衆議院本会議 (11月29日)



再稼働反対！首相官邸前抗議 (11月11日)